

31-0837 W4-1

沖縄産海綿 *Halichondria* sp.由来の新規セスキテルペノイド・halichonadins A~Dの構造

○石山 玄明¹, 橋本 あまね¹, 小林 淳一¹ (¹ 北大院薬)

【目的】 沖縄産海綿 *Halichondria* sp.の抽出物より新規セスキテルペノイド・halichonadins A~D (**1**~**4**)を単離し、構造を明らかにしたので報告する。

【方法・結果】 沖縄・運天港で採取した海綿 *Halichondria* sp.のメタノール抽出物の EtOAc 可溶画分を、シリカゲルカラムで精製し、新規セスキテルペノイド・halichonadins A~D (**1**, 0.004%; **2**, 0.001%; **3**, 0.01%; **4**, 0.0004%; 湿重量)を単離した。**1**は、高分解能 EIMS から分子式 $C_{31}H_{52}N_2O$ であると推定した。各種2次元 NMR データの詳細な解析および化学誘導反応に基づき、**1**は天然物としては稀なウレア結合を介したユーデスマン骨格をもつセスキテルペノイド2量体であることを、相対立体配置を含めて明らかにした。同様の解析により **2**~**4**は、共通にユーデスマン骨格を有し、**2**は天然物では珍しいカルバメート基を、**3**はイソニトリル基を、**4**はアミノ基をそれぞれもつ化合物であることを、相対立体配置を含めて明らかにした。

【考察】 Halichonadin C (**3**)には顕著な抗真菌活性が認められた。

